

同志社大学

新島塾

を覗いて

みませんか。



「合宿で鍛える知的基礎体力」

学部 1 年次生 体験参加 募集

[期 間]

2024 年 9 月 5 日 (木) ~9 月 8 日 (日)

[会 場]

滋賀県大津市北小松 179

同志社びわこリトリートセンター



同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力

[新島塾とは]

同志社大学は、我が校の門をくぐった皆さんが、校祖新島の精神を継承し、リーダーシップとフォローアップを兼ね備えた人材として社会の様々な分野で活躍されることを願い、「同志社大学新島塾」を2019年度に開塾しました。

新島塾では、正課の授業での学習に留まらず、学ぶ意欲と能力を可能な限り伸ばしたいと考える学部2年次・3年次生が新島塾塾生として、学部の垣根を越え共に切磋琢磨しています。



皆さんは、同志社の徽章の由来をご存知ですか。正三角形を3つ寄せたこのマークは、国あるいは土を意味するアッシリア文字『ムツウ』を図案化したものです。考案者の湯浅半月は、同志社が生んだ詩人（代表作『十二の石塚』）であり古代オリエント学者でもありました。制定された当時、半月は同志社神学校教授でした。制定以来、知・徳・体の三位一体あるいは調和を目指す同志社の教育理念をあらわすものと解釈されています。

新島塾は、知識や技法の伝達だけではなく、人間的信頼関係を構築する同志社大学の教育的伝統に基づき、「書を読み、友人や先生と語り、仲間と協働する価値を学ぶ」をコンセプトに据え、多彩な講師陣により、次の3つのオリジナルプログラムを実施しています。

1. 「リーダーシップ論・ワークショップ」

「リーダーシップとはいったい何か。リーダーとはどのような人なのか。リーダーに必要な素養や能力はいったい何なのか。」これらに明確なただ一つの解があるわけではありません。リーダーシップとは何かを学び、自分にふさわしいリーダーシップスタイルを構想します。チームはどうあるべきで、自分はその一員としてどう考え、どう行動すべきかを理論と実践から学びます。

2. 「読書から始まる知の探究」

春期、秋期に課題図書を読み、あらかじめ指定された読書後の活動（課題図書のテーマに関するディベートやフィールドワーク等）を通して取り上げられる問題を考察、探究し、幅広い教養や論理的思考力の獲得、社会的視野の拡大と意欲の醸成、豊かな感性を育みます。

3. 「合宿で鍛える知的基礎体力」

日常生活から離れて塾生や講師と時間・空間を共有して語り、仲間と協働する価値を学ぶことに集中します。事前に合宿のテーマに関連する課題図書を読み込み、合宿中は担当教員による講義の受講と確認小テストを繰り返します。また、事後レポートの作成や討論によって、専門分野に留まらない学知の必要性を思い知るとともに、複雑な社会情勢を読み解くための基礎力を培います。

体験参加を募集するプログラムは 3. 「合宿で鍛える知的基礎体力」です。

[合宿の概要とねらい]

新島塾は、必修プログラム「合宿で鍛える知的基礎体力」として、3泊4日の集中講義を同志社びわこリトリートセンター（滋賀県大津市）で行います。合宿では、塾生が社会を支える世代となり、様々な分野で指導的立場におかれているであろう「2040年頃の時代でも通用する普遍的な学力は何かを知り、それをいかに獲得すればよいか」を学びます。

2024年合宿のテーマは、「ビジネスと良心」です。ビジネスや起業は、何か特別な資格や才能、潤沢な資金を持つ一部の人がだけが可能なのでしょうか。起業家や創業者はどのような観点、マインドをもってビジネスに取り組んでいるのでしょうか。同志社の標榜する「良心」はビジネスにどのように活かされるべきか、塾長から語っていただきます。

今年度は、日本では珍しい連続起業家（シリアルアントレプレナー）として、KDDIの共同創業、イーモバイルなど数々の新規ビジネスを成功に導かれた経験をお持ちの千本 倅生先生を講師にお招きします。本学の専門職大学院ビジネス研究科の先生にもお越しいただき「起業」と「起業を成功させる」の違い、「起業、イノベーション、良心」を繋ぐものについて講義と議論から考えます。

その一方で「ビジネスと良心」を「イノベーション」や「科学技術」と結び付けて捉えるためには数学の基礎知識、数的な感覚が必要です。市場分析、状況把握、売上目標、進捗管理など、ビジネスではありとあらゆる場面で日常的に数字を扱います。参加者は、数字に基づく判断、数字を根拠として話すことつまり数的な感覚は必須であることに講義と実践から気付きます。その気付きから数学がなぜ重要とされるのか改めて認識し、大学での学習に対する姿勢に変革を及ぼすことを目指します。

合宿参加者は、文系・理系の特定分野に偏ることなく幅広く学びます。一見すると別のテーマである事柄が実は相互に関連していることに気付き、なぜ学問と向き合い探究することが重要なのか十分に理解します。そして、学知の基礎をどのように獲得するか具体的な学習方法を身に付けます。

さらに今年度の合宿では、社会で活躍する新島塾 OB が複数参加してくれます。ぜひ自身のロールモデル、なりたい将来像を見つけてください。

[体験参加の募集]

新島塾は、学部1年次生を対象に「合宿で鍛える知的基礎体力」の体験参加者を募集します。体験参加した学部1年次生が新島塾塾生の切磋琢磨する姿に刺激を受け、同志社大学新島塾への関心や意欲を高め、次年度に塾生として新島塾の門を叩くことを期待しています。

[募集人数]

10名を上限とします。応募者多数の場合、新島塾において抽選を行います。結果は、応募者本人にメールで連絡します。

[会場]

〒520-0501 滋賀県大津市北小松179 同志社びわこリトリートセンター

[合宿で鍛える知的基礎体力 講師陣]

小原 克博 新島塾塾長、神学部教授、同志社大学長
佐藤 優 同志社大学特別顧問(東京担当)、作家、元外交官
千本 倅生 KDDI 創業者、連続起業家、千本財団代表理事
後藤 琢也 新島塾コーディネーター、理工学部教授、副学長
井上 福子 ビジネス研究科教授
森 良弘 ビジネス研究科教授
新島塾 OB 塾生(0期生、1期生、2期生、3期生)

[合宿の日程]タイムテーブルは7ページを参照してください。

2024年9月5日(木)12:00 ~ 9月8日(日)15:00

[9月に行う合宿の進め方]

合宿ではセッション全体を通し、ひとつの事象であっても、別の観点、視点から捉えると全く別の見え方をすることを講義と演習から学びます。このように様々なテーマから幅広く学び、理解を深めることで、人文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」の獲得を目指します。

合宿中は、各テーマに関する講義を受け、質疑応答や確認の小テストを繰り返し行います。また、グループワークや討議なども随所に織り交ぜます。参加者は、各セッションでほかの塾生や講師と議論し、意見を交わすことでより理解を深めます。

以下の事前課題に取り組み、合宿に臨んでください。課題図書の内容を理解し、他の塾生と対等に議論や質問できるだけの事前知識や自分の意見、積極姿勢が必要です。それではなければ、合宿で行われる高度な議論を理解することはできません。

[合宿課題図書]

1. 千本 倅生『千に一つの奇跡をつかめ!』サンマーク出版、2023年
2. 良心学研究センター『良心学入門』岩波書店、2018年
3. 芳沢 光雄『数学の苦手が好きに変わるとき』ちくまプリマー新書、2024年
4. 田中 久稔『経済数学入門の入門』岩波書店、2018年
5. 麻布競馬場『この部屋から東京タワーは永遠に見えない』集英社、2022年
6. 麻布競馬場『令和元年の人生ゲーム』文藝春秋、2024年
7. カール・E. ワイク『センスメイキング イン オーガニゼーションズ』文真堂、2001年
8. クレイトン M.クリステンセン『イノベーション・オブ・ライフ: ハーバード・ビジネススクールを巣立つ君たちへ』翔泳社、2012年

[9月に行う合宿の事前課題]

- A) 課題図書2を読み、関心をもった2つの章を選び、「総説 良心学とは何か」と関係づけながら、なぜその章に関心をひかれたのかを1,600字以内で述べてください。
- B) 課題図書3、4の内容を理解(復習)しておくこと。合宿では各自の理解度を確認する。
- C) 課題図書5、6を読むこと。登場人物は競争の中でずたずたになっていくが、そうならないためにどうすればいいか。自分の考えを文字にまとめること。分量は自由。
- D) 課題図書8を読み、次の項目について課題図書以外の情報源も活用して調査し、1000~2000文字程度の説明資料を作成しておく。
 - 1.クレイトン・クリステンセンの略歴(箇条書きでよい)
 - 2.「イノベーションのジレンマ」とは
 - 3.「片付けるべき用事」理論とは
 - 4.「限界的思考の罨」とは

●合宿事前課題の提出期限および提出方法

提出期限は、8月25日(日)とする

事前課題は、事務局宛のメールに添付し提出すること。メール本文に氏名を忘れないこと。

※課題図書1と7については、事前課題の提出はありませんが、合宿までに精読してください

[合宿の進め方]

1)セッション1 塾長との対話・討論

このセッションは、講演会や和気あいあいとした雰囲気づくりを行うためのイントロダクションではありません。塾長が、合宿を実施する目的や、新島塾生に寄せられている期待、求められるリーダーシップ像とはどのようなものか、後に続くセッションと深く関連する内容で話します。そこに込められた塾長の考えや想いを直接聞き、4日間にわたる合宿に挑むため意識の転換、切り替えを行います。

途中で随時、塾長や佐藤先生と直接対話、討議を交えます。塾生は、「自分はなぜ新島塾で学び、何のために合宿に参加しているのか、この合宿で何を心得るのか」その意義と目的を再確認し、参画意識を高めてください。学生生活において、新島塾以外の場で塾長や佐藤先生と直接対話できる機会は滅多にありません。参加者には、ただ漫然と聴講することなく、この貴重な機会に自身の意見や質問を積極的に発言し、このセッションに「参画」することが求められます。

2)セッション2から7のキーワード

アントレプレナーシップ、ビジネス、イノベーション、技術革新、起業、キリスト教的価値観
組織マネジメント、人的資源管理
論理、統計、確率、数的感覚、有効数字、ビジネス数学
大学で学ぶべきこと、企業で求められること、時間をどう使うか

3)セッション8 総括と対話

講師から4日間の成果について講評を得て、合宿を振り返ります。合宿の総括として、塾生は学知の基礎をどのように獲得するか、将来の目標も加味して具体的な学習方法を設定します。

4) 合宿中の課題

合宿期間中は毎日課題が課され、講師からの指示に沿って作成します。課題は個人またはグループで取り組みます。講義内容をもとに与えられたテーマに対し、自身の考えを限られた時間内で書く訓練や、グループで期日までに成果を出す訓練を行います。課題は当日中に事務局に提出します。講師陣はその理解度をチェックし、翌日までに返却します。そのフィードバックによって、塾生は自身の理解をさらに深めます。

[募集期間と応募方法]

2024年6月1日(土)～6月14日(金)15:00 締切

Microsoft Forms に必要事項を入力してください。



[合宿会場]

〒520-0501 滋賀県大津市北小松 179 同志社びわこリトリートセンター

<https://www.doshisha.ac.jp/retreat/access/access.html>

京都駅よりJR湖西線 北小松駅まで普通電車で約45分、新快速で約35分
北小松駅下車後、びわこリトリートセンターまではシャトルバスで送迎します。

2024 年度合宿で鍛える知的基礎体力 タイムテーブル

			12:00	13:00		15:30	18:00	19:00	22:00
9月5日 (木)	JR 北小松駅集合 京都駅 9:48 発→北小松駅 10:19 着 京都駅 10:45 発→北小松駅 11:18 着		集合後 昼食		【1】150分 塾長 「ビジネスと良心」	休憩	【2】150分 塾長&佐藤先生	夕食	課題A (提出期限 22時)

	7:30	9:00		12:00	13:00	14:00	14:30		18:00	19:00	22:00
9月6日 (金)	朝食		【3】180分+ α 森先生・井上先生 「イノベーションと起業」 「イノベーションと起業を繋ぐもの」	昼食		休憩	【4】150分程度 千本先生講演・質疑応答	夕食	課題B (提出期限 22時)		

	7:30	9:00		12:00	13:00	14:00	14:30		18:00	19:00	22:00
9月7日 (土)	朝食		【5】180分+ α 後藤先生 「なぜ数学が必要か」	昼食	【5】 まとめ	休憩	【6】210分 OB 塾生セッション I 「新島塾で学んだこと/学ぶべきこと」	夕食	課題C (提出期限 22時)		

	7:30	8:30	9:30		12:00	13:00		15:00	15:45
9月8日 (日)	朝食	礼拝		【7】150分 OB 塾生セッション 2 「社会で求められること」 「進路と就職」	昼食	【8】120分 佐藤先生 「総括と対話」	撤収	JR 北小松駅まで移動 北小松駅 16:26 発 →京都駅 16:57 着	

[備考]

- 合宿の参加費は無料です。ただし、自宅から JR 湖西線北小松駅までの往復交通費は参加者の負担とします。また、北小松駅とびわこリトリートセンター間は、安全面の配慮からシャトルバスに乗車します。
- Zoom 事前学習や合宿で用いる課題図書・参考図書は、各自で購入してください。書籍購入の事実が分かる領収証やレシートの原本(コピー不可)と引き換えに、実費を後日返却します。書店の店頭で購入することを勧めます。
- 9月に行う合宿は、宿泊を伴う3泊4日です。宿泊に必要な用具(着替え、洗面用具、バスタオル類)は各自持参してください。1日だけの参加や途中からなど、部分参加はできません。
- 9月に行う合宿は、Zoom等のオンライン環境では実施しません。
- 9月に行う合宿には、新島塾の修了生数名がチューターとして参加予定です。
- 「同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力」の様子は、写真および動画撮影を行い、オフィシャル Web サイトや印刷物、公式 SNS などの媒体に掲載することがあります。
- 体験参加申込時に入力した個人情報(学生 ID・氏名・メールアドレス)は、新島塾が行う各種プログラムや塾生募集、今後の改善のためのアンケートやヒアリングなどの案内に利用し、目的外の利用はしません。なお、個人が特定されないよう統計処理した個人情報は、大学が調査資料として利用します。また、取得した個人情報は、同意を得ず第三者に提供しません。
- その他必要な事項は、体験参加者に別途案内します。

[その他]

- 発熱や倦怠感、のどの痛みなど通常と異なる身体症状がある場合、事務局に連絡し、欠席してください。決して無理に参加しないでください。
- 合宿中に発熱などの体調不良者が出た場合、合宿を急遽中止することがあります。

--- 問い合わせ先 -----

同志社大学高等研究教育院事務室(同志社大学新島塾事務局)

電話:075-251-3259

メール:ji-njyuk@mail.doshisha.ac.jp

学びのかたちの新展開 Web サイト

<https://next.doshisha.ac.jp/>

